

令和元年 7月25日 00440号

編集者:佐藤 寿 春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

URL <http://www.kitamibudokan.org/>



ニュースレター【事務局情報】

姉妹都市のエリザベス市訪問団が7月10日、北見市武道館を視察しました。クリスチャン・ボルウェッジ市長と一向14名は居合道を見た後、弓道場に移動し、弓道の練習風景を見学した後、北見市弓道会の坂井清治氏(教師七段)の説明を受けながら弓を手に弦を引いてみるなど、弓の感触を味わいました。(②回目)

小さなお客様！工藤光祥くん工藤光陽さん米田絢太くん「気合」 剣道の三人が窓口に来てく



れました。小学4年生の米田絢太(写真右:よねたじゅんた)くんは1年の頃カッコいい剣道のポスターを見て、北見剣心館に入りました。おかげで身体が丈夫で健康になったといいます。工藤光祥(写真左:くどうきしょう)くんは小学3年生ですが二人の姉とお母さんが剣道をしていたため幼稚園から始め剣道歴では絢太くんより2年先輩です。小学5年生の工藤光陽(くどうきひろ)さんは光祥くんの姉でいつも一緒に武道館に来ます。三

人は28日札幌市で開催される少年剣道錬成大会(赤胴大会)に出場することが決まって大会に向けた稽古に励んでいます。次の日、長髪だった絢太くんの頭が丸刈りだったので「髪！短くなったね！」と尋ねると「気合入れたので！」と元気のいい返事が返ってきて、赤胴大会に向けた意気込みが伝わってきました。全道大会では気合を入れて頑張ってくださいね。〈佐藤〉

武道振興協会事務所の花シリーズ 「ヤブデマリ」 藪手鞠ガマズミ属の落葉低木で藪の中に生え花序が手鞠のように丸いことからこの名ようです。枝先々に白くて大きな花が秋まで次から次へと咲きます。花の散った後はサンゴのように赤くまた霜が訪れるまで庭を華やかにする味わい深い花です。〈渋谷〉



連載「武道宝鑑」第22弾 剣術極意(千葉周作遺稿『剣法秘訣』より)剣術修行心得(17回目)

たとえ勝負つくと、直ぐに付込みて、向こうを攻め掛け攻め掛け、息をつがせぬ様につかえば、向こう休息の間なきゆえ、忽ち息切れ弱り、業鈍くなりて、何ほどにても遣はるるものなり、それを知らぬゆえ、初心者をつかうにも、一本一本間合を取り直し、又新に間合いを詰めて遣うゆえ、そのうちには向こうも息をきれ、同じ息合いになるものなり、よく考うべし。『気は早く心は静か身は軽く目は・・・つづく』